

『ふたたび』



撮影：小南 達矢

聖陵会 水環境委員会

2016

目次

大分県日田市

聖陵会・水環境委員会

1、はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2P
2、水浄化班・・・・・・・・・・・・・・・・	3P
3、里山植林班・・・・・・・・・・・・・・・・	7P
4、河川調査班・・・・・・・・・・・・・・・・	11P

はじめに

今年、筑後川流域では大きな水害もなく、無事一年が過ぎようとしています。しかしながら、他県や他の市では様々な災害が起きました。地震や台風、大雨によるもの、土砂崩れや川の氾濫、豊かな環境づくりには欠かす事のできない山や川が、時には甚大な被害をもたらす、それをいち早く復旧、復活させ豊かな自然を継続していかなければなりません。

聖陵会 水環境委員会では今年も「植林」「水浄化」「河川調査」の三つの班に分かれ活動してきました。活動内容としては、長年続けてきた事ばかりですが、新たな活動も見出しつつ今後も継続していきたいと考えております。しかし昨年のように色々な川やダムなどあまり見学に行けてないことを残念に感じており、委員長としては勉強不足だったと思います。来年は色々な事に参加出来るようにしたいと思います。

また、一昨年国交省、環境省より表彰、昨年に続き今年の11月に県より表彰を受け大変うれしく思いました。このような評価を頂きましたのも2000年の発足当時のメンバーや今日までのメンバー、お世話になっている方々の何よりの賜物と心より感謝申し上げます。

今後とも聖陵会 水環境委員会をよろしくお願いします。



左:高倉千恵美 副委員長
中:財津恭介 委員長
右:森山志保理 副委員長

水浄化班



右より 財津丸美 幸野晴香 毛利ゆかり 森山ひとみ
矢幡大典 草本美由紀 江田武

<年間活動報告>

平成28年4月 ろ過水の水質検査実施
10月 冊子作り開始

今年は4月の熊本・大分で起こった地震をはじめとし、大型台風、河川の氾濫など各地で多くの自然災害に見舞われました。大型の災害では飲料水は順次配布されますが、その他の生活用水の確保が困難になります。その様な非常時に、河川や池・プールなどの水を生活用水として、また飲料水としても利用する事が可能であるか、水環境委員会のろ過装置と市販の移動式簡易浄水装置エコポリグル君を用いて水質調査を行いました。また、前年度までの調査でろ過装置を用いただけでは、一般細菌・大腸菌までは取り除く事ができなかったため、殺菌の目的で塩素を使用しました。

移動式簡易浄水装置エコポリグル君



水ろ過装置（ろ過工程に砂利・竹炭を使用）



ろ過装置 水質結果

検査項目	結果 (川の水)	結果 (塩素無し)	結果 (塩素有)	単位	基準値
一般細菌	4300	11000	46	個 /ml	100 個/ml 以下
大腸菌	陽性	陽性	不検出		不検出
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.4	0.4	0.4	mg/ℓ	10 mg/ℓ以下
塩化物イオン	7.6	6.5	7.4	mg/ℓ	200 mg/ℓ以下
有機物 (全有機炭素：T O C)	0.6	0.7	1.0	mg/ℓ	3 mg/ℓ以下
pH 値	7.6 (21℃)	7.9 (21℃)	8.3 (21℃)		5.8～8.6
臭気	異常なし	異常なし	異常なし		異常でない事
色度	5	7	6	度	5 度以下
濁度	2.3	3.3	4.7	度	2 度以下
鉄及びその化合物	0.17	0.16	0.13	mg/ℓ	0.3 mg/ℓ以下
カルシウム、 マグネシウム等 (硬度)	34	39	38	mg/ℓ	300 mg/ℓ以下
残留塩素	不検出 (0.1 未 満)	不検出 (0.1 未 満)	不検出 (0.1 未 満)		

エコポリグル君水質結果

検査項目	結果 (塩素無し)	結果 (塩素有)	単位	基準値
一般細菌	11000	0	個/ml	100 個/ml 以下
大腸菌	不検出	不検出		不検出
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.5	0.5	mg/ℓ	10 mg/ℓ以下
塩化物イオン	17	18	mg/ℓ	200 mg/ℓ以下
有機物 (全有機炭素：T O C)	3.8	3.1	mg/ℓ	3 mg/ℓ以下
pH 値	6.9 (21℃)	7.2 (21℃)		5.8～8.6
臭気	異常なし	異常なし		異常でない事
色度	2	1 未満	度	5 度以下
濁度	2.8	1.5	度	2 度以下
鉄及びその化合物	0.04	不検出	mg/ℓ	0.3 mg/ℓ以下
カルシウム、 マグネシウム等 (硬度)	240	270	mg/ℓ	300 mg/ℓ以下
残留塩素	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)		

実験の結果、ろ過装置、エコポリグル君どちらも、ろ過前よりも一般細菌が増えるといった結果になりました。特にろ過装置では塩素を使用しても微量の菌が残るという結果でした。これまで様々な原因を考え消毒等を行ってきましたが、ろ過装置の使用頻度、ろ過工程など改善しない限り、まだろ過後の水を生活用水として使用することはできないと思われます。また、エコポリグル君も塩素を使用しなければ多数の一般細菌が検出されました。しかし市販の物であるため、生活用水としては使用できるのかも知れません。今回の調査ではどちらの装置を使用しても、川の水を飲料水として使うことはできないという結果になり、まだまだこれから原因と対策を考えていかななくてはなりません。これから予想できない災害に備え、生活用水だけでも十分確保できるように今後も活動が続けていきたいと思います。

里山植林班



左上から…中司裕人、井上敬太、石井真理子、梶原瑞穂、加藤加寿子、永畑ゆかり
前列左から…中園あかね、熊谷彩（班長）、平川理奈、藤木文子

『年間活動報告』

- 平成 28 年 2 月 28 日（日） 大山ダム子どもの森 植林・ラベル設置
平成 28 年 4 月 24 日（日） NPO 初島林園 第 9 回通常総会、自然観察会、
木戸道男博士による講演「ピンクタフの噴出源」
平成 28 年 7 月 31 日（日） 大山ダム子どもの森 草刈り作業

毎年、大山ダムではたくさんの木々が植林されている。

しかし、日当たりは良いが、土の状態は植物が成長するには決して適した場所ではないと植林関係者の方には言われる。また山奥ということもあり、イノシシや鹿が多数出没する為、せっかく植林し、順調に成長していた植物たちは無残な姿になってしまう。

今まで何度か活動に参加しているが、なかなか緑いっぱいの森になることは難しい。土の問題、日田市特有の天候、またイノシシなどの外敵。これらの問題を全て解決することは難しいだろう。しかし、そういう環境の中でも毎年行うことで確実に変化はしている。「継続は力なり」とはこのことだと思いつくづく感じた。

立派に成長している木々もあり、その周りを雑草が埋め尽くすほど成長は著しい。草刈りにも参加させていただき、植物の生命力の強さに驚かされた 1 日だった。

今後も植林活動に出来る限り参加していき、変化を感じていけたらと思う。

平成 28 年 2 月 28 日（日） 大山ダム子どもの森 植林・ラベル設置

○たくさんのお木を植林しました。



○昼食（鹿肉の燻製とバーベキュー）

全く臭みもなく、とても食べやすく美味しかったです。



平成 28 年 4 月 24 日（日） NPO 初島林園 第 9 回通常総会、自然観察会、
木戸道男博士による講演「ピンクタフの噴出源」

○通常総会の様子



○ダム散策、自然観察会



平成 28 年 7 月 31 日（日） 大山ダム子どもの森 草刈り作業

○NPO 初島林園理事長 神川建彦氏による説明のもと、草刈り作業開始



河川調査班



佐藤洋介・貞清寿・恒任秀一・伊藤孝士・横山節子・櫻木ひかる

年間活動報告

平成 28 年 3 月	玖珠町役場環境防災課の方から玖珠川の情報収集
平成 28 年 5 月	玖珠町役場環境水道課の方から情報収集
平成 28 年 6 月	リバーフェスタ会議 2 回/月参加（朝霧の館にて）
平成 28 年 7 月 3 日	玖珠河川清掃参加
平成 28 年 7 月	リバーフェスタ会議 2 回/月参加（朝霧の館にて）
平成 28 年 8 月	リバーフェスタ会議 2 回/月参加（朝霧の館にて）
平成 28 年 8 月	水環境ネットワークセンター会議参加
平成 28 年 8 月 28 日	「リバーフェスタ」へ参加
平成 28 年 10 月	冊子作成の為資料まとめ
平成 28 年 11 月	〃

玖珠河川清掃

条例で玖珠町が毎年 7 月第 1 日曜日を【環境保全の日】と制定。玖珠町中心部を流れる河川敷の清掃活動で玖珠町環境防災課の職員と事前にコンタクトを図り、当日は町民はじめ他ボランティア団体約 30 団体を含む約 550 名が参加しています。作業内容は玖珠町に架かる協心橋を中心に両岸約 2 k m のゴミ拾い、草刈り作業の実施。聖陵会からは 12 名が参加しました。

7 月 3 日（日）当日は雲行きが悪く雨の心配もありましたが、作業終了まで天候に恵まれ、とても蒸し暑い中での作業だった為、細めに水分補給を取りながらの実施でした。聖陵会はおもに河川敷所々に生えている雑草を抜いたり、ゴミを拾ったりしていました。空き缶・吸殻が特に多く、中にはレジャー用具や数日前の大雨によって流れてきた流木など様々でした。駐車場に隣接する芝生の雑草は他ボランティアの方が芝刈り機で刈って下さったので草を集めて軽トラックに載せる作業を行いました。



草の量は大量でトラックは河川敷と集積所を何度も行き返りしており大変な作業となっていました。作業は 3 時間程で終了し解散。市役所の方よりゴミ袋や玖珠町で使えるポイントカードを頂きました。帰る時に協心橋の上から見た河川敷は雑草やゴミが無くなりとてもきれいな場所になっていました。今回の清掃への参加は玖珠川をきれいにするという目的に一步近づけたのではないかと思います。



ひた水環境ネットワークセンター主催
『2016 年リバーフェスタ in 三隈川』に参加させて頂きました。



今年も8月28日（日）三隈川の両岸（中ノ島公園と亀山公園）にて第21回リバーフェスタ in 三隈川が開催されました。

水郷日田を代表するこのイベントに聖陵会として参加させて頂き、地域の方々と交流させて頂きました。『子供たちに泳げる川を・・・』をスローガンとして取り組まれる『ひた水環境ネットワークセンター』主催のこのイベントは、ジェットスキーやウッディースライダー、ゴザの上を走るイベントやターザンロープ、工作イベント（ペットボトルロケット）等、子供たちに川に親しんでもらい、日田の水をもっと知ってもらいたいと様々なアトラクションが設置され、中ノ島公園内には焼きそば、唐揚げ、かき氷、たこ焼き等出店されて食も楽しむ事ができました。

聖陵会の水環境委員会としては、お茶やジュースの販売、アクリルたわしの配布と救護班としての参加でした。当日はあいにくの雨天で気温も上がらず、来客者が少ない状況でスタートしましたが徐々に増え、幅広い年齢層の方々が楽しんでいました。

アクリルたわしは使用方法など記載した説明書を添えて配布しました。地域の方々より「テレビで見た事ある」「知っているけど使った事がない」「気になっていたけどなかなかねえー」など貴重なご意見と大変興味や関心持って頂けました。複数回お見えになられ作成や入手方法をお問い合わせされる方もおり嬉しく思いました。

救護班では、大きな怪我をする方は無く、切り傷で来られた方の対応となりました。

また、来年も聖陵会の職員としてこの水郷日田を守る活動に携わって行ければと思っています。





撮影：小南 達矢